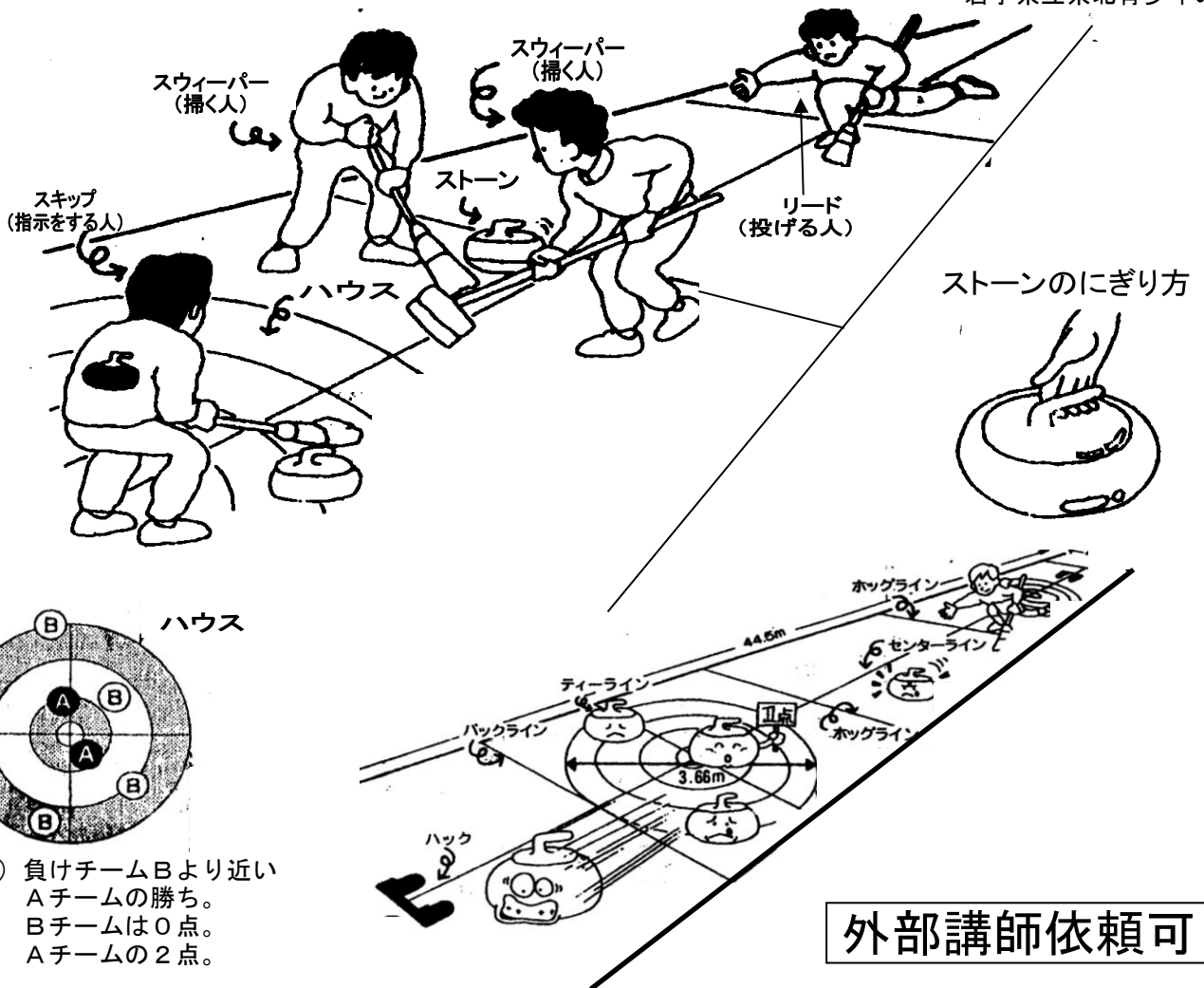


カーリング

岩手県立県北青少年の家



(得点例) 負けチームBより近い
Aチームの勝ち。
Bチームは0点。
Aチームの2点。

外部講師依頼可

概要	ストーンと呼ばれる円石がくるくとカール（回転）しながら滑っていくところから名付けられたカーリング。今は冬のスポーツとして世界的に知られていますが、もともとはヨーロッパの凍った池や川で楽しんだ氷上の岩投げがルーツ。ストーンは重さ約19kgで直径29cm、氷の厚さは最低約11.5cm。
場所	県北青少年の家スケート場
所要時間	1時間～
準備	ストーン（16個）、ブラシ、スライダー、ハック
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1チーム4人にストーン8個。2チーム対戦で両チームあわせて16個のストーンを使用。 ・相手チームと交互に1人がストーンを1個ずつ2回氷上を滑らす。 ・ストーンが投げられたあと、ストーンに接触してはならない。 ・2チームでストーン16個投げて1エンド。これを10回戦行う。競技時間は約2時間40分。 ・得点は円（ハウス）の中心にどちらのチームのストーンが近いかで、そのエンドの勝ち負けが決まる。また、負けチームの中心に近いストーンより、いくつ中心に近いかで点数が決まる。（負けは0点。引き分けは0対0。） ・ホッグラインの手前でストーンから手を放さないと失格。また、ホッグラインを越えないストーンやバックラインをオーバーしたストーンも失格。 ・相手チームのストーンをはじき出すというのもテクニックの1つ。 ・ティーラインのうしろで投球側チームがスウィープしないと決めた場合は、相手チームの1人が、スウィープしてもよい。
備考	<p>※初心者の方は、必ずヘルメットを着用のこと。ストーンの移動は氷上を滑らし持ち上げないこと。</p> <p>※外部講師依頼場合、都合を確認。講師謝金要相談。</p>

※用具の取り扱いと事故防止には十分注意すること。